

【様式】

令和2(2020)年度 学校マネジメントシート

(三重県立あけぼの学園高等学校)

1 目指す姿

(1) 目指す 学校像	○「強く明るく真心で」を校訓とし、あけぼの学園高校の生徒として一人ひとりが“自信と誇り”をもち、地域に貢献し地域から信頼される学校	
(2)	育みたい 生徒像	○学びに向かう力を育み、成果をあげる体験を重ねることで自己肯定感・自己有用感を高め、新しい時代を生き抜く力を持っている。 ○制服や髪型など高校生としてふさわしい身だしなみを整えている。 ○他の生徒の多様性を尊重して寛容な態度で接し、かつ共通の課題に対し協力して取り組んでいる。 ○地域の一員として積極的に活動することで、地域から信頼を得ている。
	ありたい 教職員像	○目指す学校像の実現に向け、「チームあけぼの」の一員として自校の存在価値を高めている。 ○授業を大切に学力向上を図るとともに、生徒の小さな成長の積み重ねに力を注ぎ、その成長を目にすることを自らの喜びとし、自らも成長しようとしている。 ○生徒及び教職員相互の多様性を尊重して寛容な態度で接し、かつ学校の抱える課題に協働して取り組んでいる。 ○様々な形で積極的に地域と連携・貢献し、地域とともに魅力ある学校づくりに取り組んでいる。

2 現状認識

(1) 学校の価値を 提供する相手と そこからの要 求・期待	<生徒> ○わかる授業、部活動の充実、安全・安心で楽しく充実した高校生活 <保護者> ○安心して楽しく過ごすことができる学校生活、学力向上、進路実現 <中学校> ○中学校に対する理解、多様な生徒の受け入れ、生徒個々への丁寧な指導と進路実現 <地域社会> ○学校・地域の連携強化、地域振興・活性化、学校の情報提供、地域の担い手育成 ○基礎学力、体力、コミュニケーション能力や社会的マナーを身につけた人材の育成	
(2) 連携する相手と 連携する うえでの 要望・期待	連携する相手からの要望・期待	連携する相手への要望・期待
	<保護者> 安全・安心な学校 基礎学力の定着、進路実現 <中学校> 丁寧で親身な指導 多様な生徒の受け入れ 生徒一人ひとりの進路実現 学校の情報提供 <地域社会> 地域の担い手育成 社会的マナーを身につけた人材育成 地域行事などへの参加と地域貢献 学校の情報提供 開かれた学校づくり コミュニケーション能力の向上	<保護者> 学校の指導方針への理解・協力・連携 学校行事への参加と助言 <中学校> 教育活動の相互理解 生徒同士の交流と教職員間の連携 学習習慣の涵養 基礎学力の定着 目的意識の向上 <地域社会> 地域の子どもたちの本校へ入学希望 学校行事への参加と助言 教育活動への理解と協力 本校への求人確保とその増加 インターンシップの受け入れと協力

(3) 前年度の学校関係者評価等		<p>○成果発表会の生徒の姿を見ていると挨拶や聞く態度など非常によく、この状態を続けられるようにしてほしい。</p> <p>○地域との連携については非常によく頑張っており、地域からの信頼も厚い。このことは本校の強みだと感じるので今後も大事にしてほしい。</p> <p>○身だしなみについては、以前と比較すると改善されていると感じるが、周りからの期待がさらに高まっているのではと思われる。</p>
(4) 現状と課題	教育活動	<p>○学習に対する意識を高めるために、イエローカード等で出席状況や提出物について粘り強く指導することを続ける。</p> <p>○身だしなみ指導については、特定の違反者に特別指導を行うなど指導の徹底を図る。遅刻数のクラス目標を設定することで遅刻を抑制し、数の多い生徒に対するペナルティを徹底するなど遅刻の減少に取り組む。</p> <p>○授業やホームルームでの粘り強いアナウンスや進路実現につながる資格の紹介など、資格取得に向けて意識を高める取組を学校全体で行う。</p> <p>○人権だより「ことだま」を通して、自他の人権を大切にすることを高めるとともに、HRC風の広報活動を行う。全校生徒対象に「インターネット(SNS)と人権」等の講演会を引き続き実施する。</p>
	学校運営等	<p>○基礎学力の定着や学びに向かう力の育成、外国にルーツのある生徒に対しての日本語指導などが喫緊の課題である。学校全体でカリキュラムマネジメントを行い、対応を検討して進める。</p> <p>○本校の今後のあり方について、中学生の進学希望調査では定員をオーバーしている現状はあるが、本校に求められていることをリサーチして、ニーズに合った改善、改革について協議し、取組を進める。</p> <p>○教職員の働き方改革として、業務の見える化や効率化を図り、連携協力ができる体制づくりを早急に進める。</p> <p>○学校の現状と課題の共有化を図り、全員でその課題に向かう意識の醸成と組織の改革に取り組む。</p>

3 中長期的な重点目標

教育活動	<p>○基本的な生活習慣の確立や部活動・資格取得等への積極的なチャレンジを促し、基礎学力やコミュニケーション能力を向上させ、生徒一人ひとりの学校生活の充実と希望進路の実現を図る。</p>
学校運営等	<p>○地域連携の取り組みや情報発信を積極的に行い、地域のニーズを正確に把握した活動に取り組むことで、学校の活性化や地域貢献につなげる。</p> <p>○学校行事・分掌業務・部活動指導等について、精選や見直しを行うとともに、同僚性を発揮し、協力・協働して取り組む体制を確立することで、教育活動や学校運営を継続的に改善するための仕組みが機能し、教職員が元気にいきいきと職務を遂行することができるようにする。</p>

4 本年度の行動計画と評価

(1) 教育活動

「※」：定期的に進捗を管理する取組 「◎」：最重点取組

項目	取組内容・指標	結果
学習指導	<p>◇生徒の実態に即した学習指導の工夫と基礎学力の向上を図る。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○授業公開及びテスト前補習を年2回実施 ○イエローカードの効果的な活用(欠課5分の1超、成績不振、課題未提出などがある場合、教科担任が発行) (※) ○生徒や教員に授業に関するアンケートを年2回実施 (◎) <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「基礎力診断テストの学習評価ゾーン1ランクアップ」の生徒30%以上 ○「レッドカード(不認定・未履修)」前年比減(R1:20) ○「学習指導に概ね満足」生徒80%以上 	
生徒指導	<p>◇高校生としての身だしなみを整え、基本的な生活習慣を確立するために粘り強く取り組む。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○全教員による日常的な身だしなみ指導の実施 (※) ○全教員による登校指導、休憩時間の校内巡視の実施 (※) ○特定の違反者への特別指導の実施 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○頭髪服装違反が前年比減(R1:890) ○朝の遅刻が前年比減(R1:881) 	
安心・安全な学校	<p>◇心身の健康と自他ともに大切にする態度の育成を図り、安心・安全な学校作りを進める。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○毎週の保健委員会での情報共有と教育相談、支援体制の構築 (※) ○命を考える講演会の実施 ○学校生活やいじめ等に関するアンケートを年3回実施 (◎) <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「安心・安全な学校である」生徒90%以上 ○「心身の健康指導、教育相談に概ね満足」生徒80%以上 	
キャリア教育・進路指導の充実	<p>◇自己の生き方を主体的に考え、資格取得や部活動に意欲的に取り組み、自己肯定感を高め、社会に貢献できる人材の育成と希望進路の実現を目指す。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「産業社会と人間」「総合研究」やLHR等におけるキャリアガイダンスの実施、地域学習、フィールドワーク、インターンシップの充実 (◎) ○「IGABITO 育成事業」でのシチズンシップ教育の実施 ○資格取得や部活動の推奨 (※) ○卒業生による進路講話の実施 ○個人面談・ガイダンス面談を年2回以上実施、3年次面接指導の充実 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「自己のキャリア育成に前向きに取り組む」生徒80%以上 	

	<ul style="list-style-type: none"> ○「地域社会の一員としての自覚を持つ」生徒 80%以上 ○資格試験、検定試験の受検者 (R1: 253)、部活動加入率 (R1: 93.1%) が前年比増 ○「希望進路が実現した」生徒 100% 	
人権教育の充実	◇様々な人権問題に関心を持ち、人権意識を高め、主体的に行動できる人材の育成を図る。	
	【活動指標】 <ul style="list-style-type: none"> ○人権だより「ことだま」の発行、HRC 風への参加 (※) ○3年間を見通した人権LHRを各年次3回実施 (◎) ○生徒の実態を踏まえた人権講演会の実施 【成果指標】 <ul style="list-style-type: none"> ○「人権に対する理解を深め、人権尊重の行動へつなげる」生徒 90%以上 	
改善課題		
(年度末に記載)		

(2) 学校運営等

「※」: 定期的に進捗を管理する取組 「◎」: 最重点取組

項目	取組内容・指標	結果
情報発信 地域連携	◇地域への情報発信と交流を進め、地域とともに歩む学校として活性化を図る。	
	【活動指標】 <ul style="list-style-type: none"> ○地域への情報発信 年10回以上 (※) ○地域との交流・連携事業 年10回以上 (※) (◎) ○学校ホームページの更新 月1回以上 (※) 【成果指標】 <ul style="list-style-type: none"> ○地域、小中学校で、「本校教育活動への理解が増加」 80%以上 	
教職員の 資質向上	◇教職員は、日頃から自己研鑽に励み、学校の課題解決に向けて他の教職員と協力・協働して取り組む。また、すべての教職員に法令遵守の意識の醸成を図る。	
	【活動指標】 <ul style="list-style-type: none"> ○教職員の校外研修への参加年1回以上 (※) ○校内研修会、情報交換会の実施 (◎) ○コンプライアンスアンケート、コンプライアンスミーティングの実施 【成果指標】 <ul style="list-style-type: none"> ○「法令遵守の意識が向上した」教員 100% 	
組織運営 働き方改革	◇各分掌の業務の見直し、削減に取り組み、教職員のワーク・ライフ・バランス改善の取組を推進し、総勤務時間の縮減に取り組む。	
	【活動指標】 <ul style="list-style-type: none"> ○各分掌の業務の洗い出しと分担の見直し (※) ○定時退校日を月1回設定、実施率95% (R1: 85%) (※) (◎) ○部活動の休養日を週1回設定、実施率100% (R1: 100%) (※) ○放課後に開催する定例会議は60分以内設定、実施率100% (R1: 95%) 【成果指標】 <ul style="list-style-type: none"> ○年休取得日数、一人16日以上/年 (R1: 15日) ○月45時間超、年間360時間超の時間外労働者 0人 (◎) (R 	

	1 : 2人)	
改善課題		
(年度末に記載)		

5 学校関係者評価

明らかになった改善課題と次 への取組方向	(年度末に記載)
-------------------------	----------

6 次年度に向けた改善策

教育活動 について の改善策	(年度末に記載)
学校運営 について の改善策	(年度末に記載)